





### 実用新案登録願

(4,000円)

昭和54年 7月31日

特許庁長官 川原能雄 殿

1. 考案の名称

オータタージテンシャ 折り掛み自転車

> ロコペマシホドガヤタカリバチョウ 住 所 神奈川県横浜市保土ケ谷区辞場町 308番146

3. 实用新案登録出願人

住 所 東京都千代田区大手町2丁目6番1号 プサヒトウカイ カイ 朝日東海ビル 19階

名称 ウシオ電療株式会社 サノシタ ミキヤ 代表者 木 下 幹 毎

4. 代 理 人

作 所 〒105 東京都港区虎ノ門1丁目18番1号

第10線ビル8階

近 名 (6298) 柳珊士 **澤** 木 誠 一

電話(501)0937~8番

5. 添付背類の目録

(1) 例 紹 内 1 通 (2) ~ 次 通 1 通 (3) 图 内 尚 本 1 通



22182

54 104791

- 1.考案の名称 折り 長み 自転車
- 2.実用新客登録請求の範囲
- 略四辺形の2枚の枠を互に平行に齢間して配 置し互に結合せしめて形成した機枠と、この機 枠の略中央部に設けたその高さを可変をらしめ たサドルと、前配機枠に設けたその高さが可変で、 垂底軸の周りで回動自在であり且つ前記枠枠の 前端上部で2つ折り可能としたハンドル支持機構 と、このインドル支持機構の上端に取り付けた2 つ折り可能なハンドルと、前記各枠の前端下部に おいて機枠の後方に傾動して機枠下部より前配 2枚の枠内に入り込むよう敷配ハンドル支持機構 に連艚した前翰支持機構と、この前輪支持機構 によつて支持した前輪と、前記締ねの後端下部に おいて推枠の前方に傾動して機枠側方より前記 2枚の枠内に入り込むよう前配機枠に枢支した袋 輪 フォークと、この 後輪 フォークによつて支持 した 後輪と、この後輪の中央部に 固定した小径チェーン ホイールと、新配機枠の中央下部に回動自在に

支持せしめた大径チェーンポイールと、前配 2 つのチェーンポイール間を連続するチェーンと、 前配大径のチェーンポイールの軸の両端に失々 設けたその向きが可変のペダルとより成ること を特徴とする折り畳み自転車。

#### 3. 考案の詳細な説明

•					
•			,		
		;			
	•			•	
•					
	•				

以下関面によって本考案の事施例を2 体科1 章 神教の主体1 章 神教の主体1 章 神教の主体を2 方の一方をする。に称きないででは、一方の一方のでは、1 のの一方のでは、2 では、2 では、4 を はいませんが、4 を はいまないが、4 を はいまないがいまないがいが、4 を はいまないがいが、4 を はいまないが、4 を はいまないがいがいまないがいまないが、4 を

## 公開実用 昭和56-22182

方に類動自在なるよう前配下部 6 b に 核支したへ ンドル用中空管、1mはこのハンドル用中空管の 上部 6 m の傾動を禁止するストッパー、 B は前配 ハンドル用中空管6の上部68に挿過したハンド ル杆、 4 b はとのハンドル杆 8 をハンドル用中型 管6の上部6mに任意の位置で掛止せしめるため のストッパー、9 はその内端部をハンドル杆8の 上端に回動自在に枢支した左右の素子98,9b より成るハンドル、10はハンドル素子 9 a , 9 b が一般となる状態でとれを前配ハンドル杆8に固 定せしめるためのストッパー、11は前記ハンド ル用中空管 6 の下部 6 b の下端に連結した回動自 在の前輪ステム、12はこの射輪ステム11を支 持するため前配併枠1に固定した支管、13は株 停しの前端下部において後方に傾動して機停下部 より雑配2枚の枠1 \* , 1 b 内に入り込むよう前 削削輪ステム11の下端に根支した前輪フォーク、 76は前記前能フォーク13の傾動を禁止するス トンパー、14は前記前輪フォーク13により向 割自在に支持せしめた前輪、15は新記機停1の

後端下部においてその基部を樹枠の前方に傾動し て機枠側方より前記2枚の枠1 a , 1 b 内に入り 込むよう前配禅枠1に根支した三角状の後輪フォ ーク、16はこの後数フォーク15によつて回動 自在に支持せしめた移輸、17は前記移動フォー ク15の基部上端に係合して後輪16の何動を禁 止し使用位置に保持するため軟配棒枠1に移動自 在に設けた極状ストンパー、18は前野後輸16 の中央部に固定した小径のチェーンホイール、 19は前記修枠1の中央下部に周動自在に支持せ しめた大径のチェーンホイール、20,21廿夫 夫前記2つのチェーンホイール18。19間にお いて協権1に回動自在に支持せしめた同軸状の小 径及び大径の中間チェーンホイール、22,23 は失々前記チェーンホイール18と21及び20 と19間に態架したチェーン、24m,246 は夫 夫大任のチェーンホイール19の帥19′の両端に その向きを可変化設けたペダルを示す。

本考案におけるストッパー4 a , 4 b は互に同一構成とし、。第 2 図に示すようにサドル用中空管

2 又はハンドル用中空管 6 の上部 6 a 化一端を収支したストツパー杆 2 5 と、このストツパー杆 2 5 の係合面 2 5'を常時サドル杆 8 又はハンドル杆 8 の側面に対接するよう前記ストツパー杆 2 5 と前記サドル用中空管 2 又はハンドル用中空管 6 の上部 6 a 間に介揮したスプリング 2 6 とによって形成せる。

又ストンパーでも、でもも互に同一様成とし、 第3回に示すようにハンドル用中空管もの下部6b 又は前輪マオーク18に回動自在に収立で、係止 行2では、この係止杆2での係止部2でに係合する。 前記ハンドル用中空管もの上 を有する。 前記の保止部2でが常時前記を 前記係止杆2でを 前記係止杆2である。 前記係止杆2である。 前記係止杆2である。 前記係止杆2である。 前記係止杆2である。 が記録した。 であるよう抑制するスプリング29とに よつて形成せしめる。

又その向き可変のペダル 24 m. 24 b は 夫々第4 関に示すように大径のチェーンホイール 1 9 の # 19' に固定したペース 3 0 と、このペース 3 0 の上面に形成した凹部 3 1 と、ペダル 24 m ( 24 b)

のクランク 8 2 の下部 化形成した 前配凹部 3 1 化 係合する突部 3 8 と、 前配凹部 3 1 と突部 3 8 が 豆に係合するよう両者を抑制する抑止機構 3 4 と により形成し、搾止機構 3 4 を締めればペダル 2 4 a ( 2 4 b ) のクランク 3 2 がその軸方向に移 動し凹部 3 1 と突部 3 8 の保合が外れ、クランク 3 2 をその軸の局りに回動してペダル 2 4 a ( 2 4 b ) が操枠 1 から突出しない向きとすることができる ようにする。

又ストッパー10は鮮5 関、# 6 関に示すように左右の妻子9 a , 9 b で内端部に失々形はした左右の妻子9 a , 9 b を一部をかすように拡けたとき大々の合致するようになるノッチ35 a , 3 5 h と、この合致したノッチのに係合するよう抑制された係合子 8 7 とにより形成せしめる。

本考察折り景み自転車は図示しないがこの他従来野知のヘッドライト。プレーキ、警報ブザー等を具備するものである。

本考案折り資み自転車は上記のような構成であ

8

るからこれを折り畳む場合には先づ4bのストッ パー杆25をスプリング26に抗して押し上げて ハンドル杆8とストツパー杆25の係合を外しハ ンドル杆 8 をハンドル用中空管 6 の上部 6 a 内に 押し込む。次にストツパー10の係合子87をス プリング36に抗して水平方向に偏位してハンド ル第子91,9bのノツチ351,35bょり外し、 ハンドル妻子9a,9bを互に撃なるよう折り費 む。次にストツパーでも、7bの保止杆27をス プリング 27 に抗して押してハンドル用中空管 6 の上部 6 a を下部 6 b に対し後方に係動して伊神 102枚の枠1 a , 1 b 内にその上方から挿入せ しめると共に前輪14を前輪フォーク18と共に その私支部で後方に折り曲げとれらを同じく粉枠 1 の称 1 a , 1 b 内にその下方から挿入せしめる。 次いで棒状ストッパー17を持ち上げを輸フォー クリラの基部上端との係合を外して接触16を後 輪アオーク15、小径チェーンホイール18と共 に前方に位動し回じく 歩棹 1 の枠 1 a , 1 b 内化 その例方から挿入せしめる。次にストッパー4a

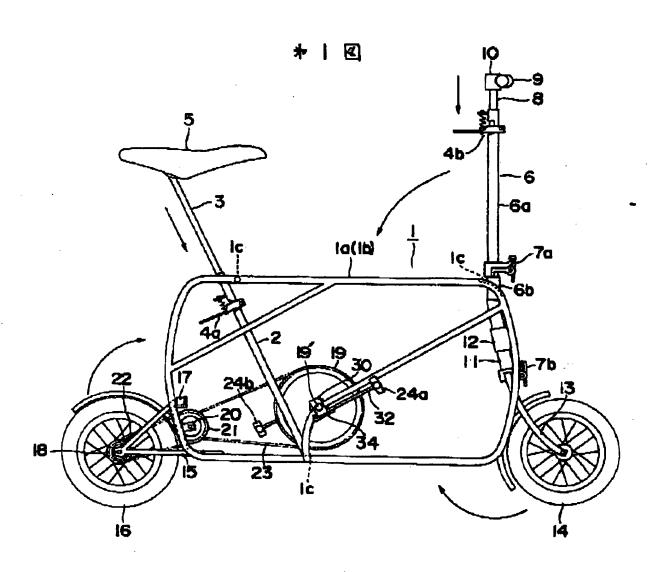
のストッパー杆25をスプリング26に枯して押し上げてサドル杆3とストッパー杆25の係合を外しサドル杆3をサドル用中準管2内に押し込む。次いで抑止機34を移めてペダルのクランク32をその軸方向に移動し凹部31と奥部33の係合を外し、クランタ32をその軸の局りに90°以上回動してペダル24m(24b)が機枠1外から外方に突出しないようにする。

本考察折り針み自転車は上部の通りであるからその折り作み状態においては各部の粉機が総べて 略四辺形の物体1内に格納された状態と方り機構 り骨みのまり移動する際機体1により各部の機構 が保護されるようになり、父金体が四角となる形 らこれをポストンパッグ等に入れるのが極めて 易でまり、機単に持ち運びできるように方る等大 きた利益かある。

#### 4. 図面の簡単を説明

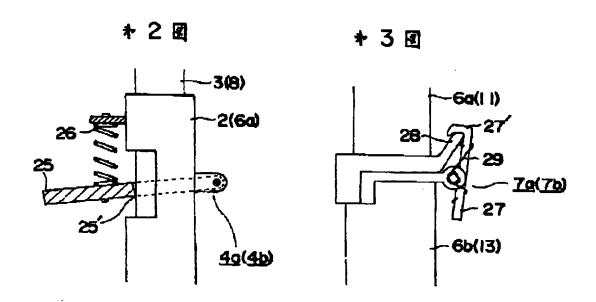
総1 図は本考案自転車の正面図、館2 図~館4 図は夫々ストッパーの説明図、第5 図はハンドル 折り畳み部の正面図、餌6 図はその平面図である。

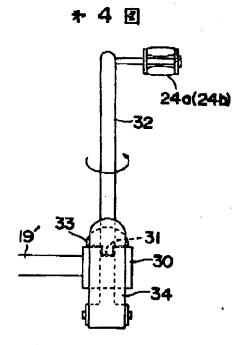
代理人 弁理士 海 木 誠 一



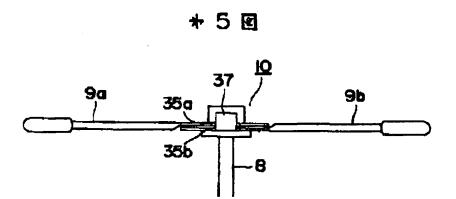
22132 1/3

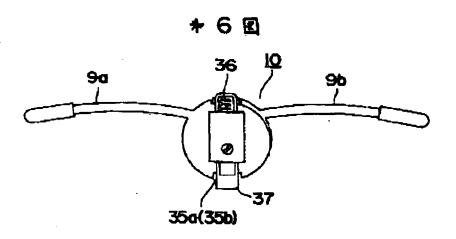
# 公開実用 昭和56—22182





22182 3





22162 3/3

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
$\square$ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
Потнер.

### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.